

「松武秀樹とシンセサイザー」 トークセミナー



YMOをはじめ多くの作品等にシンセサイザープログラマーとして参加した松武秀樹のトークセミナーです。氏の音楽人生を綴った「松武秀樹とシンセサイザー」に記されたエピソードをさらに深く掘り下げ、シンセサイザープログラマーとしての職業観や多くのシンセサイザーとのかわり方、さらにライブの裏話などを中心に語ります。2月20日の1回目は「松武秀樹の音楽人生」、3月26日の第2回目は「松武秀樹が語るシンセサイザープログラマー昨日・今日・明日」をテーマに、ここでしか聞けないトークセミナーを開催いたします。参加対象者は、音楽クリエイター、音楽指導者をはじめプロ/アマチュアを問わずシンセサイザー愛好家ならどなたでもご参加いただけます。お気軽にお申し込みください。

第1回目： 2016年2月20日(土) 18:30～20:00

「松武秀樹の音楽人生」

第2回目： 2016年3月26日(土) 18:30～20:00

「松武秀樹が語る
シンセサイザープログラマー昨日・今日・明日」

【参加費：各回 2,000円(税込) 定員：各回先着40名】



教材

「松武秀樹とシンセサイザー」
「MOOG III-Cとともに歩んだ音楽人生」
(DU BOOKS)

『たった一人のフルバンド』(復刻版)付属の初
回限定版を40冊のみ会場にて特別特典付きで
販売致します。どうぞご利用ください。

*** 参加者募集中 ***

会場：

(お問合せ)

トート音楽院 渋谷 セシャトホール

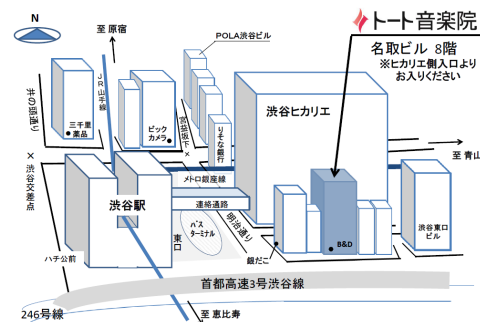
TEL: 03-3407-4100 URL: thoth.co.jp

東京都渋谷区渋谷2-22-8 名取ビル 8F

JR/東急/東京メトロ 渋谷駅東口より徒歩3分

■営業時間：[月~金] 10:00~21:30 [土・日] 10:00~19:00 [祝祭日] 休校

協力： 株式会社 ミュージックエアポート トート音楽院



松武秀樹 (まつたけ・ひでき)

1951年生まれ。神奈川県出身。1970年の大阪万博で「スイッチド・オン・パッパ」を聴き、新しいフィールドに大なる興味と関心を抱く。20歳から富田勲氏のアシスタントとして、当時日本には数台しかなかった「モーグ・シンセサイザー」による音楽制作スタッフを経験。

独立後、1978年、矢野顕子のアルバム『トキメキ』のニューヨーク・レコーディングにおいてデジタル・シーケンサーを使用。坂本龍一のソロ第1作『千のナイフ』への参加をきっかけに、1978年～1982年にかけて、シンセサイザープログラマーとしてYMO作品に参加し、数々の伝説的なレコーディングを経験。1981年には自身のユニットであるLOGIC SYSTEMを結成し、現在までに15枚のアルバムを発表。2011年に入り、『RMXLOGIX (with special tracks)』のリリースに合わせて、エレクトロニック・ミュージックにフォーカスを当てた新レーベル<MOTION± (モーション・プラス/マイナス)>を始動させた。2012年5月には第2弾、『RMXLOGIX Vol.2 (with SPECIAL TRACKS)』をリリース。2015年に「松武秀樹とシンセサイザー」を出版。